

身寄りのない方でも安心して暮らし続けるためには・・・

当院では、時々身寄りのない人や頼れる人がいない方が入院されることがあります。

そのようなとき、意外と何でもないように思える相談で「どうするかな？どうあるべきか？」と判断に迷い、悶々とした時間を過ごすことがあります。

例えば、ある患者さんから「甥に羊羹を送りたい」と頼まれたことがありました。このことは、はたして病院職員がそこまで引き受けるべきか迷い、一旦相談を持ち帰り、病院スタッフやMSW仲間と話し合い、結果、頻度がそれほどでもなく、仕事に支障が出ないのであれば、柔軟に対応することとしました。

しかし、頻度が多くなってくると、一つひとつはそれほど無茶苦茶な依頼とは思えないのですが、「これを引き受けていいのだろうか？」と疑問に思い、その人に会うのが億劫になっていきました。断ってしまった場合、ささやかな依頼だけに、かえって絶望的な気持ちを与えかねないと思い、正直なところ「弱ったなー」と今も思い悩む日々です。

頼りになる方がいない人は、自分で自分のことが出来なくなった時、元気なときは何でもなかった買い物や用事が入院に限らず在宅でも生活に支障をきたします。

後見人制度や介護保険サービスもありますが、まだまだ家族の支えが前提で公的サービスだけでは十分に生活を支えられるようにはなっていません。

今後も身寄りのない人、家族に頼れない方は増加していく見込みです。身寄りのない方でも安心して暮らし続けられるための支援体制の構築が必要になっていると強く感じます。

医療ソーシャルワーカー 新 栄治

<医療ソーシャルワーカーにお気軽にご相談ください！>

当院では経済的な理由で医療にかかる機会が奪われないように無料又は低額で診療を受けることできる無料低額診療事業を行っています。対象は非課税世帯であるなど医療費の支払い困難な低所得者です。詳細は当病院医療ソーシャルワーカーにご相談下さい。

院内学習会

12月は「ハラスメントについて」、「HPHについて」患者利用者だけでなく職員自身の健康につながる課題を中心に学習会を行いました。

「ハラスメント」では、日々起こるかもしれない患者等の暴言暴力の対応やそうならないための日々の対応や環境作りのポイント、認知症より生じる問題行動にはケアカンファを重視することを学びました。いつになく多くの感想や悩みが出され問題意識の高さが伺えました。

「HPH」では、自分自身にとって健康に何が必要かを知りそれを実践していく、又は医療従事者としてそれを応援していくことが必要であるということ学びました。



石川民医連2021年度全職員研修会

毎年恒例の石川民医連全職員研修会が12月19日にオンラインで開催しました。以前は会場に集合する研修会でしたが、昨年よりオンラインに代わり2年目を迎えました。

テーマは「今こそ 人権意識を高くもってつながる力を大きく～いのちと人権を守り抜く民医連の役割～」がテーマでした

昨年は講演中心でしたが、他事業所の経験を学び、自事業所の活動を報告したい思いから今年は分散会を復活しました。新型コロナウイルス感染症パンデミックの中で、各事業所や地域での教訓や今後の課題を中心に報告がなされました。当事業所からは病棟におけるタブレット面会の実際や通所リハにおける卒業に至った事例を報告しました。

開催者側も参加者も操作に慣れてきたことや自宅からでも参加できることから参加数も増えたことが大きな成果だったのではと感じています。

2021年度 石川民医連
全職員研修会 抄録集
“今こそ”人権意識を高くもってつながる力を大きく
～いのちと人権を守り抜く民医連の役割～

日時：2021年12月19日（日）9：30～12：30
Zoom によるオンライン開催

石川民医連 医療機関連合会

寺井病院グループだより

寺井病院 地域連携室発行 923-1121能美市寺井町ウ84
TEL 0761-58-5500 FAX 0761-58-6015
<http://terai-hospital.jp/>

新年を迎えて

最近、メディア等でSDGsが取り上げられ、あるべき社会の姿を求め、さまざまな分野で取り組まれています。「すべての人に健康と福祉を」「誰も取り残さない」をキーワードに高齢者や生活困窮者といった社会的弱者に対して、「無料低額診療」といったツールを用いながら医療・介護の手をさしのべていきたいと思えます。

また、誰でも病気になったり障害を抱えたりする可能性はあります。「健康の決定要因」の中でも社会的リスク因子にもしっかり目を向けて、地域の方々の健康づくりを支えるために、アウトリーチ活動にも取り組んでいきたいと考えます。



私たちのめざすもの

患者・利用者に寄りそい、患者・利用者とともに困難に立ち向かいます。

専門性を高め地域に信頼される質の高い医療・介護を実践します



病院長 島 隆雄

訪問看護・訪問介護ステーションかけはしの紹介

私たちは「住み慣れた我が家で、自分らしく過ごしたい願いをかなえます」をモットーに活動しています

訪問看護ステーションかけはし

病気や障害を持ちつつもご自宅で療養生活を送っている方、治療・医療機器が必要な方、その方たちがその人らしく安心して在宅生活を送ることができるようにと援助させていただいています。

24時間365日の連絡体制で、夜間や休日の緊急時に対応を行っており、ご自宅で最期の時を迎えたいという方にもご利用いただいております。

医療処置はもちろん、日常生活の不安や悩みのご相談やリハビリテーションにも対応しています。

ヘルパーステーションかけはし

利用者・患者様がご自宅でできるだけ自立した生活を送れるように、ご支援させていただいています。

介護保険、総合事業、障害福祉サービスにおける訪問介護を行っています。

今コロナ禍で、利用者様の社会参加や地域との交流が希薄になっていきしており、訪問介護としての役割はますます重要になっていくと考えます。

ヘルパーの地位向上も目指し技量を高めていこうと思えます。



利用者・患者様の思いに寄り添い、支えることのできる看護・介護を目指して、日々奮闘しています



私たちの事業所は、寺井病院と手取の里をつなぐ廊下にあります

